

海老名市議選 11月10日投開票

当選 つつ木みゆき 1,505票(19位) 投票率:51.03%

西田ひろみからバトンタッチを成功させ、市民の議席を守りました。
生活している現場の声一つ一つに向き合いながら、市民の声を市政へ届け、市民が主役の市政を実践していきます。



台風19号城山ダム 緊急放流の検証を

県議会

佐々木ゆみこ (ネット宮前/県議)

台風19号での被害は把握できていないものもありますが、地域では一日も早い日常の回復が急務になっています。同時に、今回の台風に関連し多くの課題も明らかになっています。その一つに、城山ダムの緊急放流があります。今回、神奈川県内では初めてダム緊急放流が実施されました。

ダムの貯水量が増加することが見込まれ、台風直撃の前日11日14時から予備放流が始まり、4.5mほど水位を下げて備えていました。緊急放流は、流入する水量と同じ量しか放流しないことが鉄則となっており、今回は毎秒3000m³を放流しても、県として、下流地域において浸水被害が出ない量であると判断していました。

その後、雨が降り続け、ダムの決壊の恐れが高まり、12日17時から緊急放流を行うことを12日14時19分に関係機関に発表しました。この時は、避難してもらうための時間が必要と判断し、早めに発表したとのことです。しかし、水位の上昇が想定より遅かったため、17時直前になり延期とし、その後は放流の1時間前に告知すると発表しています。

そもそも避難するにあたり、日没後に暗くなってから避難することは、リスクも高まり、明るい時間の避難が大切なのは周知されています。しかし、日没が迫る17時前に緊急放流を延期したことに大きな疑念があります。

さらに夜21時に1時間後の放流を発表し、結果的には30分後には緊急放流を開始しています。ダムの許容水量の限界まで待ちたいと、直前までせめぎ合いだったと言いますが、今回の緊急放流の発表、その後の対応には、見直しが必要です。

相模川沿岸には、多数の高齢者施設もあり、緊急放流の情報に振り回されたとの声があります。高齢者や障がい者施設では短時間に避難することは容易ではありません。今回、相模原市では事前に臨時バスを出して施設入所者を避難所に移動させています。大雨特別警報が発令されていた中、ダムからの放水については的確な情報提供が必要であり、施設の避難者受け入れの具体的な対策が求められます。

神奈川県で初めてのダムの緊急放流だったこともあり、速やかな検証を求めています。

認知症で一人暮らしの人が生活援助がなくなると規則正しい生活が送れなくなる、デイサービスを利用できなくなると家に閉じこもりがちになり症状が悪化するなどの事例報告があり、要介護1・2の利用者と介護者家族、小規模事業者の現場の状況が浮かび上がりました。ケアマネジャーからは、プラン作成の有料化により、相談の入り口を狭めることに繋がるとの訴えがありました。



▲会場をうめた200人近くの参加者

衆議院第一議員会館の大会議室で「介護保険制度の崩壊ストップ!緊急アクション」集会が開催されました。介護保険次期改定の内容が固まる前に声を届けようと、介護の日フォーラム実行委員会が開催したもので、呼びかけに応じた国会議員約20人が参加しました。

その後、厚生労働省・財務省の担当者、介護保険の次期改定が給付抑制と利用者負担増にならないよう求める要望書に、1次集約分の署名計2万2571筆を添えて手渡しました。署名活動を11月20日まで継続していくことを確認し、閉会しました。

2019年10月12日伊豆半島に上陸した台風は、各地に被害をもたらしました。川崎市でも浸水被害が発生し、日を追うごとにその被害の実態が明らかになりました。

浸水被害の一つは、亡くなった方もいる多摩川に注ぎ込む平瀬川の逆流による高津区の浸水でした。平瀬川は麻生区に水源を持ち、宮前区から高津区を経て多摩川に注ぎます。流域では開発が進み、土壌の保水力の低下が懸念されていました。今回の逆流の原因はどこにあるのか検証の結果が待たれるところです。

被害はこの場所にとどまりませんでした。多摩川に雨水等を流す排水樋管の周辺に浸水が起きていました。一番浸水エリアが大きかったのは山王排水樋管がある丸子地区で、ここは合流式下水道です。

しかし分流式の地区でも4つの排水樋管の周辺で浸水がおこり、市民生活や工場・福祉施設などが被害を受けました。福祉施設では、浸水後から通所が休業しているため、特に施設が少ない障がい者が自宅待機を余儀なくされ、対策が急がれます。

今後に向けて浸水対策としては、首都圏外郭放水路のような巨大な施設の建設は容易ではありません。今回明らかになった避難のあり方、多くの市民が殺到して移動を余儀なくされた避難所、浸水による電気系統の故障による市民生活への支障などの課題を整理して、災害への備えとして提案していきます。



▲増水する多摩川



浸水住宅等からの災害ごみ

東日本大震災復興支援まつり

日時：2019年12月7日(土) 10:00~14:30
場所：みなとみらい臨港パーク

東日本大震災から8年が経ち、震災や被災地への関心がどんどん薄れていきます。3.11を風化させないために今年も復興支援まつりを開催します。岩手・宮城・福島から美味しい物産とともに人々が集います。交流し、つながりを深め、東北の復興に向けたメッセージを横浜の地から発信しましょう。

神奈川ネットは、南三陸などの特産品とたこ焼きの販売をします。



神奈川ネットは、地域政党です。
生活の課題は政治に直結しています。
国の政党が、地方の政治までコントロールするのではなく多様な地域政党が政策を競い住みやすいまちをつくる社会をめざします。

政治とだま。

今月の神奈川ネット

- 香害PJ、プラごみPJ：11/18(月)
- 介護保険アクションチーム、市民の生活・活動法律相談：11/20(水)
- 議員年金アクションチーム：11/26(火)
- 第11回運営委員会：11/28(木)
- 市民社会チャレンジ基金審査委員会：12/2(月)

編集後記 トランプ大統領は4日、気候変動への国際的な取り組みを決めた2015年の「パリ協定」からの離脱を正式に国連に通告し、米国は世界で唯一、同協定に参加していない国となる。同国は世界の炭素排出量の15%を占めているだけでなく、発展途上国にとっては重要な財政と技術の供給元でもあり、気候変動に大きなダメージを与える▼スーパ台風や豪雨が頻発し、世界各地で甚大な災害が発生している中、50年、100年先を見据えた施策を実行していかなければ、人類の未来はない。大統領選だけを視野に入れたこのような暴挙はとても許せない。(C・M)